



新産業戦略研究会 (第1回)

「山形県におけるニュービジネス等の状況について」

= 実践事例と新しい潮流そして課題解決 =

(有)SKソリューションズ 黒沼 貞志



Contents(目次)

- はじめに
- 実践事例紹介
- 実践事例から読取れる新しい潮流
- 新しい潮流に求められる課題
- 課題解決の手法
- プロジェクト・マネジメントの目的



はじめに

自己紹介（下記別紙資料参照）

略歴

事業紹介資料

地銀総研機関紙掲載拙稿

国土交通省地域づくりレポーター最新レポート





課題解決支援業務の関連システム相関図



実践事例紹介 (1)

異分野・異業種への展開

流通業から製造・販売事業へ

清涼飲料販売事業の業務改善ニーズ  装置開発  特許化
 製造  販売

<副産物> : 「高度技術開発の新しい発想 (大学機関の評価)」

建設業からサービス業へ

公共土木事業  バリアフリー 住宅分野事業
 高齢化社会の家庭密着型諸サービス業 (パートナーとの連携)



実践事例紹介 (2)

現業を活かした事業展開

産業構造の変化への対応

自動車リサイクル法施行 (2005) に向けた解体・リサイクル業種の
「グループ結成 & 経営改善による生残り」検討

地域活性化事業

地域異業種連携・協働事業創出 : NPO+ 福祉事業 + 農業

地域NPO福祉事業の新しい事業展開 : 主事業 (GH・DS・・・)
+ 新付加価値機能 (小規模作業所) 導入

環境分野技術の試み (型産業)

技術 : 「バイオマス・エタノール」「バイオマス・スラリー・フューエル」「ウロン破壊装置」・・・

施策 : 「リサイクルポート事業」「環境保全型産業集積促進事業」・・・

実践事例紹介 (3)

☞ コミュニティビジネス (CB) 領域の新しい試み

CB興隆の下地づくりとしての【 **カフェ**】

= 情報交流機能提供としての『空間・場』の創出 =
プラットフォームCB (自立分散型ネットワーク) 構築へ

CB起業創出支援プログラム (セミナー型から**実践型へ**)

アイデア・コンテスト → 起業オアシス → 長期協働ワークショップ 支援
個別起業塾



起業家創出 & 県内支援者の発掘・育成

新しい潮流に求められる課題 (1)

産業界の2極分化

「グローバルイゼーション」 & 「ローカライゼーション」 → 両輪のバランス

消費者意識の変化

廉価・大量

変化

「安全」「信頼」「公正」

「こだわり」への回帰

地域の蘇生

(1) 「ローカライゼーション」 → 産学官民の連携・協働・共創

(2) 企業のパラダイム (共通思考の枠組み) シフト

— 組織 (企業) 中心 → 連携・協働 (パートナーシップ) の形成

メリット : リソース (人材・資金・資材・時間) 活用の可能性 & 自由度が広がる



新しい潮流に求められる課題 (2)

事業成功の 5本柱

施策の 3本柱

- 1.ハード(インフラ 設備 システム)
- 2.ソフト(ハードの運用 活用のプロセジャー & 仕組み)
- 3.人材 (利用者 :住民 & 運用者 企業 行政など)

合意形成の確保

アカウンタビリティ(プロセスのオープン化)の確立

実践事例紹介 (3)

☞ コミュニティビジネス (CB) 領域の新しい試み

CB興隆の下地づくりとしての【 **カフェ**】

= 情報交流機能提供としての『空間・場』の創出 =
プラットフォームCB (自立分散型ネットワーク) 構築へ

CB起業創出支援プログラム (セミナー型から**実践型へ**)

アイデア・コンテスト → 起業オアシス → 長期協働ワークショップ 支援
個別起業塾



起業家創出 & 県内支援者の発掘・育成

課題解決の手法 (1)

組織のパラダイムシフト : コミュニケーションギャップの克服
トップダウン&ボトムアップの限界克服

協働ワークショップ

協働ワークショップのメリット

- (1) 事業の目標の確認及び明確化
- (2) 目標達成のための手段の見落としの低減
- (3) 団体、関係者と支援者の **合意形成** の生成
- (4) 重点課題の定量的抽出
- (5) 重点課題の担当化と実施計画書の作成
- (6) 業務の **【アカウントビリティ(説明責任、透明性)】** に寄与

共創 共進



課題解決の手法 (2)

フェーズ 1 : 構想 (アイデア) から事業コンセプト & 事業プラン立案まで

フェーズ 2 : 事業アクションプランの構築 (Q 品質 C 費用 D 期限)

事業実行計画書 (目標・現状・実現方法・担当・期限・
期待される成果物) の作成

作業工程表 (作業項目と実現可能なスケジュール) の作成

フェーズ 3 : 実行

プロジェクト・マネジメント (事業遂行管理) 手法

プロジェクト・マネジメントの目的

